

# 耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-Kouhei.org



あけましておめでとうござい  
ます。去年はコロナで大変な一  
年でしたが、早く収まってほし  
いものです。寒さ厳しい折柄、  
くれぐれもご自愛ください。

日常会話の中に含まれている  
仏教用語を紹介し始めて五年  
目に入りました。知らず知らず  
のうちに使っている仏教用語。  
それだけ日本人の生活に溶け込  
んでいるということ。かわ  
ら版、今年もご愛顧のほど、ど  
うぞよろしくお願い申し上げま  
す。

日常会話に含まれている仏教  
用語についていろいろ書いてい  
ると勉強になります。人間はい  
かにあるべきか、人間はいかに  
生きるべきか、仏教用語の本来  
の意味から教えられることが多々  
あります。とは言え、所詮(しょ  
せん)素人が趣味で書いている  
こと。詳しくは本職のお坊さん  
に聞いてください。私は所詮、素  
人です。

と、二度にわたって使った「所  
詮」も仏教用語です。日常会話  
的には「あれこれ言っても、結  
局は」とか「どこのつまり」「つ  
まるところ」「畢竟(ひつきょう)  
」などの意味で使われています。  
仏教用語の「所詮」は「ずいぶ  
ん意味が異なります。そもそも

「能詮(のうせん)」という言葉  
と常にセットで使われています  
。「所詮」は日常会話の中に  
浸透しましたが、「能詮」は普  
及しませんでした。不思議です  
ね。

仏教には「八万四千の法門」  
と言われるように、非常に多く  
の教えやお経があります。その  
中で説き明かされる内容が「所  
詮」、その内容を説き明かす言  
葉や文字が「能詮」です。

漢字的に言えば、「所」は「さ  
れる」という受動を示すもの、「能」  
は「する」という能動を示すも  
の。したがって、「所詮」は説  
き明かされる意味や内容、「能  
詮」は説き明かすための文字や  
文章を指します。ちよっと難し  
いですね。

平たく言えば、「所詮」はお経  
や仏教が教えている内容、「能詮」  
はお経そのものやその中に書き  
記されている文字や文章のこと  
を指します。

昨年までにお伝えしてきました  
たように、日常会話の中の仏教  
用語は、不思議なことに、本来  
の意味とは逆の意味で使われて  
いることが多いのです。

「所詮」はつまりお経の教えの  
内容なので、本来は「素晴らし  
いもの」という意味。しかし、

日常会話で使われている「所詮」  
は「一見素晴らしいそうだけれど  
も、実は大したことないもの」  
というような否定的な語感を含  
んでいますね。

「あの人は立派な人だ。所詮、  
学者だから(だって学者だから、  
素晴らしいのは当然だよな)」と  
いうのが本当の使い方です。

ところが、日常会話では「あ  
の人は立派な人だけど、所詮学  
者だからね」と否定的な使い方  
をされます。

人間は、自分の価値観や先入  
観にとらわれ、とかく他者の価  
値観や自分と異なる意見を否定  
的に捉えがちです。それは、人  
間の業(ごう)、性(さが)とも  
言えます。だからこそ、争いご  
とや意見の対立が生まれます。

「所詮、人間はその程度のもの」  
は日常会話の使い方、「所詮、人  
間だからそれを乗り越えられる  
はず」は仏教用語的な使い方。

所詮、仏教用語。けれど、仏  
教用語。日常会話の中の仏教用  
語の本来の意味を知ること、人  
生を豊かなものにしたいですね。  
それではまた来月、ごきげんよ  
う。

※

耕平

## 豊田 (3回シリーズ) 1~3月 中日文化センター/暮らしの中の仏教 三河新四国を旅する



本四国の「写し」霊場として、知  
多四国とともに全国のお遍路さんに  
知られる三河新四国。1626年(寛  
永2年)、浦野上人開創に遡り、  
1926年(昭和2年)、1965年(昭  
和40年)の二度にわたる再興を経  
て今日に至る歴史を旅します。そも  
そも邊地修行と言われたお遍路とは  
何か。お遍路の源流から旅は始まり  
ます。

講師 早稲田大学客員教授 大塚耕平

詳しくは下記フリーダイヤルまでお問合せください。

豊田 中日文化センター ☎0120-98-2841

